

平成28年度 第2期

# えるのす連続講座

## ～女性大学～

社会とつながり、  
心豊かに

月日	演題	内容	講師
9/27(火)	家族と平等	家族の多様化と国際化が進んだ今、日本の家族制度も見直す時期にきています。婚外子の相続、女性の再婚禁止期間、夫婦別姓に関する最新の判決を紹介し、日本の家族のあり方について考えます。	北星学園大学経済学部 経済法学科 教授 岩本 一郎
10/4(火)	ヒグマの管理は文化の問題？ 伝統的な知恵を共存に活かす	人間とヒグマがどのように共存するか。私たちが頭を悩ますこの問題解決の鍵が、北海道の先住民であるアイヌの伝統的な知恵にあることについて、科学的な立場から解説します。	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター 自然環境部長 間野 勉
10/11(火)	マイナンバーの利用とプライバシー	2016年度から本格的に始まったマイナンバー制度ですが、未だ一般に浸透しているとはいえません。マイナンバー制度とはどのような制度か？個人情報流出などの問題は本当にあるのか？など、多くの疑問について考えていきます。	札幌大学 地域共創学群 准教授 上机 美穂
10/18(火)	春の女神 ～紅の紫の上～	光源氏に最も愛された紫の上は、初恋の人藤壺の紫のゆかりとして光に育てられる。しかし、やがて彼女自身の魅力「春の紅の女神」として藤壺の身代わりではなく唯一無二の存在となった。	札幌大学 地域共創学群 教授 田中 幹子
10/25(火)	縄文文化に学ぶ ～循環と再生の思想～	北海道の厳しくも豊かな自然のなかで一万年以上も続いた縄文文化。彼らは何を想い、どんな生活をしていただろうか。最近の調査で見えてきた“縄文”のメッセージ。	北海道環境生活部 縄文世界遺産推進室 特別研究員 阿部 千春
11/1(火)	近年のロシアの人口動態	ロシア・ウクライナ紛争、それに伴うクリミア半島のロシアへの併合、さらに、最近の北極圏地域の開発がロシアの人口に与える影響についてお話しします。	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 共同研究員 田畑 朋子
11/7(月)	生活習慣病とその予防を考える	生活習慣病が生活習慣と繋がりが深いことはよく知られていますが、生活習慣病同士も繋がっており、ある意味ひとつの病気ともいえます。ここでは、生活習慣病と食事を中心にその予防についてご紹介します。	札幌市立大学 看護学部 教授 小田 和美
11/15(火)	XとYのはたらき ～ヒトの性差のつくられ方	ヒトの性はX染色体とY染色体の組み合わせで決まります。では、性差はどのようにつくられるのでしょうか。この講義では染色体、遺伝子、ホルモンと性差の関係についてお話しします。	北海道大学大学院 理学研究院 教授 黒岩 麻里
11/22(火)	持続可能な社会保障と福祉社会	誰もが安心して暮らせる社会とは、“公助・共助・互助・自助”の最適な組み合わせによる福祉社会です。そのあり方と、社会保障(年金・医療・福祉)について考えてみましょう。	北海道医療大学看護福祉学部 臨床福祉学科 教授 志水 幸
11/29(火)	現在(いま)を知る	政治、経済、社会、生活、文化、国際報道など、世の中の動きや出来事を読み解き、考えます。	北海道新聞社論説委員室

主催 公益財団法人 北海道女性協会

後援 北海道・札幌市・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会